

令和6年度事業報告

本会議は、地域における需要に応じた市民の生活に必要な交通手段の確保と旅客の利便の増進を図るため、以下の点について協議及び実施に係る連絡調整を行っています。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整
2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項の協議
3. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱の規定に基づく生活交通確保維持改善計画の策定に関する協議

令和6年度は、各項目について以下のとおり実施しました。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整

(1) 計画（山口市地域公共交通計画）の実施

①計画（山口市地域公共交通計画）の概要

計画の区域	山口市全域
計画の期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
基本方針	どの世代においても住みよい、 便利で快適なまちを実現する地域公共交通体系の構築
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公共交通ネットワークの維持・構築 2. 公共交通を利用しやすい環境の整備 3. 公共交通の利用促進 4. まちづくりと公共交通の連携強化
実施事業	<p><u>目標1 公共交通ネットワークの維持・構築</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 幹線バス路線の維持 2 自主運行バスの維持・見直し 3 乗り継ぎを考慮したダイヤ設定 4 新モビリティに関する情報収集 5 運転手確保に対する支援 <p><u>目標2 公共交通を利用しやすい環境の整備</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 バス停環境の整備 2 通学定期補助制度の創設 3 定期券適用範囲の拡大 4 割引運賃の適用 5 企画乗車券の発行 6 地域バス調整会議等の開催 <p><u>目標3 公共交通の利用促進</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供 2 ICTを活用した情報発信 3 多様な主体と連携した公共交通のPR 4 バス乗車のきっかけとなるイベントの開催 <p><u>目標4 まちづくりと公共交通の連携強化</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化 2 山県バスターミナルの設備、利便性のPR 3 山県バスターミナル周辺でのイベント開催

②令和6年度の事業実施状況

目標	事業内容	実施主体	実施状況
目標1 公共交通 ネットワークの維 持・構築	1 幹線バス路線の維持	市・交通事業者	・路線維持を継続する
	2 自主運行バスの維持・見直し	市・交通事業者	下記を令和7年4月より運行開始 ・神崎山県BT線による塩後系統、神崎系統の土日祝日と円原・伊往戸ルート の運行 ・市街地巡回線の東西ルートの便数調整し東ルート水曜運行追加
	3 乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	市・交通事業者	・路線改訂において乗り継ぎを考慮したダイヤ設定を行った
	4 新モビリティに関する情報収集	市・交通事業者	・国や県等が主催するフォーラム等に参加し、情報収集を行った
	5 運転手確保に対する支援	市・交通事業者	・事業者の運転手確保に必要な事項を継続して実施していく
目標2 公共交通を利用しやすい環境の整備	1 バス停環境の整備	市	・旧伊自良支所に待合ベンチを設置
	2 通学定期補助制度の創設	市	・継続して要望する ・令和7年4月から学生用回数券を500円で販売(100円×11枚つづり)
	3 定期券適用範囲の拡大	市・交通事業者	・令和6年4月1日より岐北線の定期券で神崎山県 BT 線及び美山地域デマンド型交通に乗車できるよう実施
	4 割引運賃の適用	市・交通事業者	自主運行バスにおいて以下の取組を継続 ・障がい者(障がい者の介助者1名)、小学生、高齢者は無料 ※障がい者手帳証の提示が必要 ・運転免許証自主返納者の運賃半額 ※運転経歴証明書の提示が必要
	5 企画乗車券の発行	市・交通事業者	・岐阜バスのホリデーパス、昼得きっぷに岐北線、板取線、ハーバスが対応(昼得きっぷはハーバス対象外)

目標	事業内容	実施主体	実施状況
	6 地域バス調整会議等の開催	市民・市・交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年4月ダイヤ改正を目途に以下の地域で説明会を実施 北山地区(R6. 9. 29) 高富地区(R6. 10. 18) 富岡地区(R6. 10. 20)
目標3 公共交通の利用促進	1 公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供	市・公共交通会議	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年10月と令和7年4月のダイヤ改正に伴い、ガイドブックを修正 HP掲載、山県BT待合所等で配布
	2 ICTを活用した情報発信	市・交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> GTFSデータの提供によりGoogle検索等で自主運行バス（デマンド除く）が検索可能。
	3 多様な主体と連携した公共交通のPR	市民・市・交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の園外保育での利用促進（園児と引率者の運賃免除）
	4 バス乗車のきっかけとなるイベントの開催	市・交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課の市民教室でバスの乗り方教室の開催を設定（応募なし） 福祉部門、市民団体との意見交換でバス乗車体験会の開催検討を依頼
目標4 まちづくりと公共交通の連携強化	1 都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化	市・交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 事業者と連携して近隣都市とのネットワークを維持・強化する
	2 山県バスターミナルの設備、利便性のPR	市・周辺施設	<ul style="list-style-type: none"> 高架下駐車場において、長期利用の事前申請をオンライン化し、駐車場にQRコードを掲示することでその場でスマホから申請ができるようにした。
	3 山県バスターミナル周辺でのイベント開催	市・周辺施設	<ul style="list-style-type: none"> J Aと岐阜バス、市の三者会議を3か月に1回（年4回）実施しバスターミナル周辺のにぎわい創出に向けての協議を行った。

2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項

(1) 書面協議（令和6年4月書面協議）

①山県モレラ線の廃止に伴う対応方策について

岐阜高富線及び他路線での乗換によりモレラ岐阜まで行くことができることから、代替バス等の運行は実施しないことについて協議し、承認した。

(2) 第2回会議（令和7年1月7日開催）

①自家用有償旅客運送の登録変更について

以下の3点について協議し、承認した。

- ・岐北線の谷合以北区間（谷合～塩後及び谷合～神崎）について、岐阜バスによる運行を廃止することに伴い、同区間の代替手段として神崎山県B T線による運行の開始。
- ・運行管理や車両の整備管理を交通事業者が協力する事業者協力型自家用有償旅客運送の導入。
- ・上記変更にもなう山県市公共交通計画の修正。

②路線バス「岐北線」の一部路線廃止について

令和7年4月1日に岐北線の塩後系統及び神崎系統が廃止について協議し、承認した。

③市街地巡回線の変更について

利用実態にあわせ利用の少ない停留所の廃止、経路の変更を行うとともに、道路の傾斜があり降車が困難との意見があった旭ヶ丘地区、蛍ヶ丘地区においてフリー降車区間を設定することについて協議し、承認した。

④市町村運営有償運送（市町村福祉運送）の変更について

市町村運営有償運送の負担金支払い方法について、利用者や事業所からの要望を受け、乗車する都度負担金を徴収する方法へ変更することについて協議し、承認した。

(3) 運賃協議分科会（令和7年1月書面協議）

①市街地巡回線に係る運賃適用の変更について

市街地巡回線の経路変更に伴う運賃設定および、山県市自主運行バスにおける後期高齢被保険者証の提示について記載の削除、学割回数券について協議し、承認した。

②岐北線、岐阜板取線、ハーバス伊自良・大桑線及びハーバス岐大病院線に係る運賃適用の変更について

後期高齢被保険者証の提示について記載の削除、学割回数券の新設について協議し、承認した。

3. 生活交通確保維持改善計画の策定

(1) 第1回会議（令和6年6月24日開催）

①令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る山県市地域公共交通計画の別紙（案）について

地域公共交通の確保・維持・改善のため、計画別紙（案）について協議し、策定した。

(2) 第2回会議（令和7年1月7日開催）

①地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について

令和6年度に実施した地域公共交通確保維持改善事業について事業評価を行った。

令和6年度山県市公共交通会議 歳入歳出決算書

1 歳入

単位：円

科目		予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減額 (B-A)	説明
款	項 目				
1	負担金	0	0		
	1 負担金	0	0		
	1 負担金	0	0		
2	国庫補助金	0	0		
	1 国庫補助金	0	0		
	1 国庫補助金	0	0		
3	繰越金	150	150		
	1 繰越金	150	150		
	1 繰越金	150	150		
4	諸収入	0	23		
	1 預金利子	0	23		
	1 預金利子	0	23		
合計		150	173	23	

2 歳出

単位：円

科目		予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減額 (B-A)	説明
款	項 目				
2	事業費	0	0		
	1 事業費	0	0		
	1 事業費	0	0		
3	予備費	150	0		
	1 予備費	150	0		
	1 予備費	150	0		
合計		150	0	△ 150	

※ 各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。

歳入歳出差引残額 173円は、令和7年度へ繰り越す。

(歳入決算額 173円－歳出決算額 0円＝歳入歳出差引残額 173円)

令和6年度山県市公共交通会議の会計書類を監査した結果、
適切に処理、記載されていることを認める。

令和7年6月5日

監事 藤根 圓六

※印影の複製防止のため、押印済の決算書については別途事務局で保管

令和7年度事業計画（案）

本会議は、地域における需要に応じた市民の生活に必要な交通手段の確保と旅客の利便の増進を図るため、以下の点について協議及び実施に係る連絡調整を行っています。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整
2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項の協議
3. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱の規定に基づく生活交通確保維持改善計画の策定に関する協議

令和7年度は、各項目について以下のとおり実施します。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整

(1) 山県市地域公共交通計画に規定する事業内容に対する令和7年度実施事業

番号	事業内容	実施内容
1-1	幹線バス路線の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者に対し、運行を継続していくために必要な補助を行う。 ・利用状況について評価を行い、課題に対する対応方針を検討する。
1-2	自主運行バスの維持・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーバス伊自良・大桑線の運行見直しを検討する。
1-3	乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点での乗継時間を考慮したダイヤで引き続き運行する。
1-4	新モビリティに関する情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・国等が開催するシンポジウム等に参加し、AI や MaaS 等の新モビリティに対する情報収集をする。
1-5	運転手確保に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者と連携し、人材確保に向けた広報活動をする。 ・交通事業者と連携しながら効率的な運行を実施する。 ・運転手不足に対する施策を積極的に情報収集する。
2-1	バス停環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節点であるハリヨ公園に待合ベンチを設置する。
2-2	通学定期補助制度の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降の実施に向け検討する。
2-3	定期券適用範囲の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月1日より岐北線の定期券で神崎山県 BT 線及び美山地域デマンド型交通に乗車できるよう実施済。 ・公共施設等でチラシを配布するとともに、中学生保護者に向けて案内をする。
2-4	割引運賃の適用	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者、障がい者、子どもへの運賃割引（無料）と運転免許証自主返納者への運賃割引（半額）を継続する。 ・交通系 IC カードが利用可能な路線で、乗り継ぎ割引を継続する。
2-5	企画乗車券の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者が発行する一日乗車券等の企画乗車券を自主

番号	事業内容	実施内容
		運行バスでも引き続き利用できるようにする。
2-6	地域バス調整会議等の開催	・路線再編を検討している伊自良、梅原、大桑、桜尾において地域バス調整会議を開催する。
3-1	公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供	・ダイヤ改正に合わせて公共交通ガイドブックを更新する。
3-2	I C Tを活用した情報発信	・令和6年3月より全路線のGTFSデータを整備済。常に最新の状態となるよう年1回以上更新をする。 ・岐阜バス運行路線でバスロケーションシステムを継続する。
3-3	多様な主体と連携した公共交通のPR	・保育園等に対し、イベント等での移動に自主運行バスを利用するよう案内する。 ・出前講座にバスの乗り方教室を設け、新規利用者の確保を目指す。
3-4	バス乗車のきっかけとなるイベントの開催	・栗まつりで公共交通ブースを出展する。 ・山県市子ども会育成協議会のイベントで山県市公共交通に関するPRを実施（イベントで清流ライナーを利用）
4-1	都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化	・各拠点と交通結節点を結ぶ路線を引き続き運行する。 ・交通結節点での乗継時間を考慮したダイヤで引き続き運行する。
4-2	山県バスターミナルの設備、利便性のPR	・市ホームページや広報紙等で山県バスターミナルについてPRする。
4-3	山県バスターミナル周辺でのイベント開催	・バスターミナルに関わる事業者と運用・調整会議を年4回開催し、にぎわい創出に向けて協議する。

2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項

(1) ハーバス伊自良・大桑線の路線見直しについて

関係機関と個別に協議を行いながら、路線等について協議する。

3. 生活交通確保維持改善計画の策定

(1) 第1回会議（令和7年6月25日）

①地域公共交通確保維持事業における公共交通計画の別紙（案）について
地域公共交通の確保・維持・改善のため、計画（案）について協議する。

(2) 第2回会議（令和7年1月予定）

①地域公共交通確保維持事業 事業評価について

令和7年度に実施した地域公共交通確保維持事業について事業評価を行う。

		令和7年										令和8年											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
通常年度		令和7年度										令和8年度											
バス年度		令和7年度					令和8年度							令和9年度									
目標1-1	幹線バス路線の維持			ハーバス伊自良・大桑線の路線見直し検討							路線変更申請					運行開始							
目標1-2	自主運行バスの維持・見直し			利用実態分析			住民意見聴取		事業者等調整														
目標1-3	乗り継ぎを考慮したダイヤ設定			路線検討			住民説明・周知等																
目標1-4	新モビリティに関する情報収集	情報収集、導入検討																					
目標1-5	運転手確保に対する支援	広報等による確保支援																					
目標2-1	バス停環境の整備					交通結節点（ハリヨ公園）への待合ベンチの設置																	
目標2-2	通学定期補助制度の創設					予算化					運用開始												
目標2-3	定期券適用範囲の拡大	制度維持・継続																					
目標2-4	割引運賃の適用	制度維持・継続																					
目標2-5	企画乗車券の発行	制度維持・継続																					
目標2-6	地域バス調整会議等の開催					地域バス調整会議開催																	
目標3-1	公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供	ダイヤ改定等必要に応じて更新																					
目標3-2	ICTを活用した情報発信	制度維持・継続																					
目標3-3	多様な主体と連携した公共交通のPR	制度維持・継続																					
目標3-4	バス乗車のきっかけとなるイベントの開催				子ども会 イベント					栗まつり													
目標4-1	都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化	清流ライナー山県BTより運行																					
目標4-2	県バスターミナルの設備、利便性のPR	制度維持・継続																					
目標4-3	山県バスターミナル周辺でのイベント開催	制度維持・継続																					

令和7年度山県市公共交通会議 歳入歳出予算書(案)

1 歳入

単位：円

科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較	説明		
款	項					目	
1	負担金	1,000	0	1,000			
	1	負担金	1,000	0	1,000		
		1	負担金	1,000	0	1,000	
2	国庫補助金	5,333,000	0	5,333,000			
	1	国庫補助金	5,333,000	0	5,333,000		
		1	国庫補助金	5,333,000	0	5,333,000	令和6年度フィーダー系補助 の上限額を参考
3	繰越金	173	150	23			
	1	繰越金	173	150	23		
		1	繰越金	173	150	23	
4	諸収入	0	0	0			
	1	預金利子	0	0	0		
		1	預金利子	0	0	0	
	2	雑入	0	0	0		
		1	雑入	0	0	0	
合計		5,334,173	150	5,334,023			

2 歳出

単位：円

科目		予算額	前年度 予算額	比較	説明		
款	項					目	
1	総務費	0	0	0			
	1	総務管理費	0	0	0		
		1	会議費	0	0	0	
		2	事務費	0	0	0	
2	事業費	5,334,000	0	5,334,000			
	1	事業費	5,334,000	0	5,334,000		
		1	事業費	5,334,000	0	5,334,000	ハーバス伊自良・大桑線の フィーダー計補助と振込手数料
3	予備費	173	150	23			
	1	予備費	173	150	23		
		1	予備費	173	150	23	
合計		5,334,173	150	5,334,023			

※ 各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。